

■マリンエンジニア 1月号 (一般社団法人 日本船舶機関士協会)

巻頭言は当協会会長の“新年のご挨拶”。曾我貴也日本郵船株式会社代表取締役社長の“年頭の辞”。監事による閑話休題は「マリンエンジニアリングの行方」。英訳を併記した機関故障例は「主機シリンダカバースタッドボルト折損」、「補助ボイラ自動運転不能」、「MF/HF 無線設備落雷による損傷」及び「排ガス浄化システム (EGCS) の不具合」。

労働問題は「機関士の労働問題について」。技術資料は令和5年度第1回技術講演会「4サイクル機関の次世代燃料取り組み」。船舶機関士等からの投稿記事は「サポーター登場」、「私の本棚」、「体験記」、および「VOICE」。

その他の記事は「ニュースの窓 (2023年の海運界ニュース)」、「知って楽しい海の話」、「令和5年度 第2回技術講演会のご案内」及び「ホームページのご紹介」など。

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 海事センタービル 5階 ☎03・3264・2518

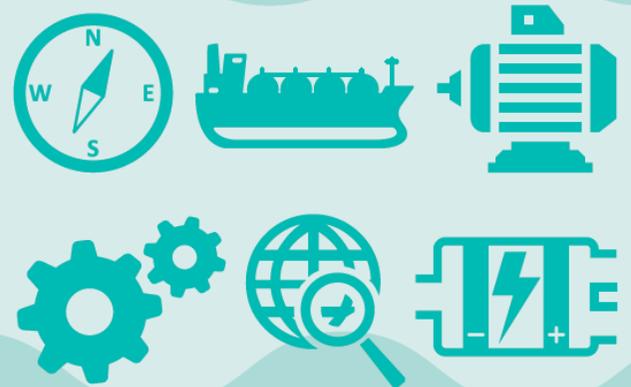
定価 1部700円 振替 00190-3-22433 01160-0-25352 ISSN 0287-203 X  
寄数月1日発行

# マリンエンジニア

The Marine Engineer

2024  
No. 885  
1月号

令和5年度第2回技術講演会のご案内  
演題: 「WinGD X-DF 2サイクル機関の紹介  
及び開発動向」



Engineering Clean

一般社団法人 日本船舶機関士協会  
Japan Marine Engineers' Association